

単元名：

音から感じたものを表したい
音のする絵

(全2時間扱い中 第1時)

授業日時 令和3年10月20日(水)第3校時

授業学級 5年2組

授業会場 5年2組教室

授業者

指導者

(1) 主眼(授業の手立てとねらい)

図形や線を使って表現することが好きな子どもたちが、聞こえた音から形や色を想像する場面で、色セロハンを切ったり重ねたりして色々な音から想像した形や色を表現する活動を通して、音の違いによって連想される色や線の性質が異なることに気づき、材料の特徴を生かして自分なりの表現をすることができる。

(2) 展開

	学習活動	予想される子どもの動き	・指導 ※留意点 《教材》 【評価】	時間
導入	1. 聞こえた音のイメージをつかむ	・ぽちゃんという音が水みたい。 ・水滴が落ちるから冷たい感じ。 ・柔らかそうな感じがする。・水滴の形は丸いから丸かな。 ・冷たい水の感じだから青い色。	・水の音の音源をかけて、どんなイメージをもったのかきく。 ・音のイメージをカテゴリーに分け、そこからどんな形や色が想像できるか子どもたちにきく。	5
	【学習問題】聞こえた音から形や色を想像してみよう。			5
	2. 色セロハンを提示する	・光にかざすと綺麗。柔らかい感じの青に見えるかも。 ・重ねると色が変わるから、冷たい感じの青だから緑と青を重ねるといいかも。 ・好きな形に切ったり貼ったりできるから、水滴の丸い形に切れそうだね。	・色セロハンを提示し、どんな表現ができるのか考えるように促す ※型紙用の画用紙やペンを準備してあることを伝える。	
	3. ラミネーターの使い方	・火傷をしないように安全に気をつけて使うようにしよう。	・ラミネーターの使い方を確認する。 ※先生と一緒に使う。逆から入れない。熱くなるから機械に触らない。出きるまで不用意に触らない。	3
	【学習課題】色セロハンを切ったり重ねたりして色々な音から想像した形や色を表現してみよう			
展開	4. 音源を聞いて表したい音を考え、表現していく	・Aの音は、なんか転がっている感じがするから丸い形。 ・Aの音は、氷の世界の感じがするから青っぽい色。 ・Bの音は、電波が出ている感じがするからギザギザの形。 ・Bの音は、黄色の感じ。音が鋭い感じがするから。 ・Cの音は怪しい感じがするから四角がいくつも重なっているような感じ。 ・Cの音は、怪しい感じだから黒色。 ・Dの音はテンポがいい感じだから。星がいくつもあまる形かな ・Dの音はリズムがよくて心地いいから赤とか黄色とかを使えそう ・Aの音の次にBの音も作ってみたけれど、形や色が全然違っている。 ・隣の友達も私と同じCの音を作ったみたいだけど、形も色も違っていておもしろい。	《4つの音源を提示する》 ・音源1から順番にかけて、それぞれに感じた形や色を共有する。 ※パソコンで何度も音が聞けることを子どもたちに伝える(classroom) ・机間指導をしながら、セロハンの特徴を生かして、色を重ねたり、好きな形に切ったりしているところを取り上げ、価値づけていく。 ・音源から想像した色や形を表現するのに手間取っている子どもたちには、教師がつくった作品を提示し、想像する支援ができるようにする。 ・できた表現からラミネートをかけて、他の音源も表現するように声をかける。 ・机間指導をしながら友とのかかわりをして作品を味わっている姿を取り上げて、価値づけていく。	27
終末	5. 振り返りをする	・セロハンを切って音からイメージした曲線や直線を表現することができた。 ・セロハンを重ねることで音から感じた色を工夫して表現することができた。 ・友達の作品と比べたり重ねたりしたら、形や色が違ってみえておもしろい。	【評価(対象)】 材料の特徴を生かして自分なりの表現をすることができる(作品、振り返り) ・振り返りを共有し、次時につなげていく。	5